

第55回中学生作文コンクール

都道府県別賞一等

人のためと自分のための保険

奈良県 吉野町立吉野中学校 三学年

宇井 穂

私は、重い病気になったことや、大きなケガをしたことはありません。でも人は、病気やケガというリスクと隣り合わせで生きています。

私は初めて保険のことについて深く考えました。テレビや新聞で目にする保険という文字。身近にあるものだけど、仕組みがよく分かっていませんでした。保険のことを知って、すごいと思ったことは、保険に入っただけに安心を備えられることです。母とも、「保険は入っただけで備えができるところが貯金などとは違うところだね」と話していました。

そして、安心があれば将来に向かっただけでがんばることができると思います。生きていくために絶対にお金は必要です。もし保険がなかったら、思わぬ病気やケガで夢をあきらめなければならぬ、なんでもこともあるかもしれません。リスクのために楽しいことや夢を失わずにすむように保険があるのだと思います。また、保険にはさまざまな種類があることも知りました。少ない金額で多くの人が支え合う掛け捨て型や、貯金のようにためていくこともできる貯蓄型など、色々あるようです。でもどんな保険でも同じなのは、人同士が助け合うということです。人を助けることもできるし、助けられることもあります。保険の良いところだと思います。

私の母は、以前大腸ガンになったことがあります。手術をして二日間入院したので、お金が掛かりました。でも母は、ガン保険というものに入っていました。ガン保険は、医師からガンと診断されたときに給付金が支払われる保険です。母はガン保険に入っていたおかげで、手術や入院に掛かるお金を受け取ることができました。そのときに、ガン保険に入っていて本当に良かったと思ったそうです。この話を聞いたとき、私は本当に保険は大切で必要なものだと感じました。自分がいつ病気になったりケガをしたりするかわかりません。今はまだ仕事をするのでできないので、自分で保険に入ることはできません。けれど大人になってリスクへの備えとして自分で保険に入ることは、とても大切なんだと思います。

第55回中学生作文コンクール

人を助けることもできるし、自分のリスクへの備えもできる保険は、とても大切なものだと思います。